

【宿送判紙】

旧仙台領東磐井郡藤沢町大籠 首藤勇夫氏所蔵

出典…『宮城縣史8土木・北上川の変遷』 只野淳著

イ 宿送判紙

慶長貳年正月

御傳馬八拾七疋本吉郡白岩、淵ノ頭、山根、左澤四ヶ所御燗屋より荒鐵千六百貫目岩手山御在城御用鐵爲納候壹駄に付貳拾貫目付也 以上

同年 正月

御燗吹主立

彌左衛門殿

川村 孫兵衛

松田 永五郎

ロ 宿送判紙

御傳馬五拾五疋可相立候荒鐵千百貫目大坂御軍用來る七日迄に石巻江可被相送候白岩、淵ノ頭兩所御燗屋より可相送候無間違首尾可被申候 以上

慶長三年五月

御燗吹工主立

彌左衛門殿

川村 孫兵衛

柴田 外記家老
大槻 半左衛門

ハ 宿送判紙

御傳馬八拾四疋片通可相立候但荒鐵貳千四百九拾貫目米谷御鍛冶屋御用に爲納候に付如斯壹駄三拾貫目着之積り也

慶長二年七月廿八日より晦日迄

東山大籠村之内左澤ノ狼川原、米谷御鍛冶屋迄

檢斷 衆

川村 孫兵衛

ニ 宿送判紙

御傳馬三拾五疋荒鐵七百貫目可相立候岩手山御用鐵可相渡候貫數山先方江申渡候間藤澤町通岩手山御用鐵爲納候御燗屋清水白岩、山根貳ヶ所狼川原通り可被相送候 以上

慶長四年五月十三日

山先工棟梁

彌左衛門殿

多田 新五右衛門

川村 孫兵衛

ホ 宿送判紙

御傳馬三拾五疋荒鐵七百貫目可相立候岩手山御用鐵狼川原通り可被相通候ノ數は明日可申遣候

慶長四年五月廿七日

山先工棟梁

彌左衛門殿

川村 孫兵衛

中村 正藏

ヘ 宿送判紙

御傳馬百五拾疋荒鐵貳百貫め去々年中吹出し殘鐵狼川原通り可被相送候仙臺御用鐵可被相納候

慶長五年二月五日

山先

彌左衛門殿

川村 孫兵衛

多田 新五右衛門

ト 宿送判紙

御傳馬六拾五疋左澤、白岩、淵ノ頭三ヶ所御燗屋ノ荒鐵千三百貫め仙臺御城御用鐵狼川原米谷通り可被相送候

慶長七年正月十三日

山先

彌左衛門殿

川村 孫兵衛

加藤 市郎左衛門

チ 宿送判紙

仙臺御城御用鐵五百貫め被仰渡候内吹出之鐵之分不殘五ヶ所之御燗屋場ノ出次第可被相送候

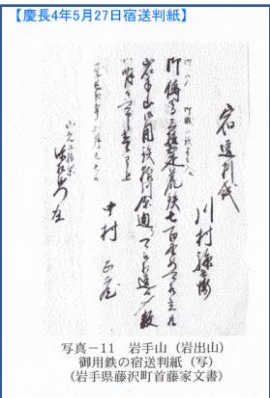
慶長七年正月廿一日

山先

彌左衛門殿

川村 孫兵衛

加藤 市郎左衛門



【慶長4年5月27日宿送判紙】

写真-11 岩手山(岩出山)御用鐵の宿送判紙(写)(岩手県藤沢町首藤家文書)

(出典：岩出山町史)